

窯業科について

窯業科では、陶器の製品づくりの学習を通して、勤労の体験を豊かにし、社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てることを目標に取り組んでいます。

このスライドでは、基本的な板作りによる中皿ができてあがるまでの作業工程を順番にのせてあります。

ちゅうざら

さぎょうこうてい

中皿ができあがるまでの作業工程

き

いと

ねんど

き

はか

①切り糸で粘土を切って計る。

ねんど

まる

②粘土を丸くたたきしめる。



③ ^{まる}丸めた粘土^{ねんど}をたたいて伸^のばす。



④ ^{かた}型にあわせて粘土^{ねんど}を切^きる。



⑤ ^き切った ^{ねんど}粘土を ^{せっこうがた}石膏型にのせて
^{かたち}形をととのえる。

⑥ ドライヤーで ^{かわ}乾かす。



せっこうがた せいひん
⑦石膏型から製品をはずし
かんそう
乾燥させる。



かんそうご すや まえ
⑧乾燥後、素焼き前の
やすりがけをする。



⑨ ^{すや}素焼きをする。



⑩ ^{すや} ^ご素焼き後のやすりがけをする。



ゆう
⑪釉がけをする。



ほんや
⑫本焼きをする。



せいひん しょうかい

製品の紹介



はんばいかつどう

販売活動

